

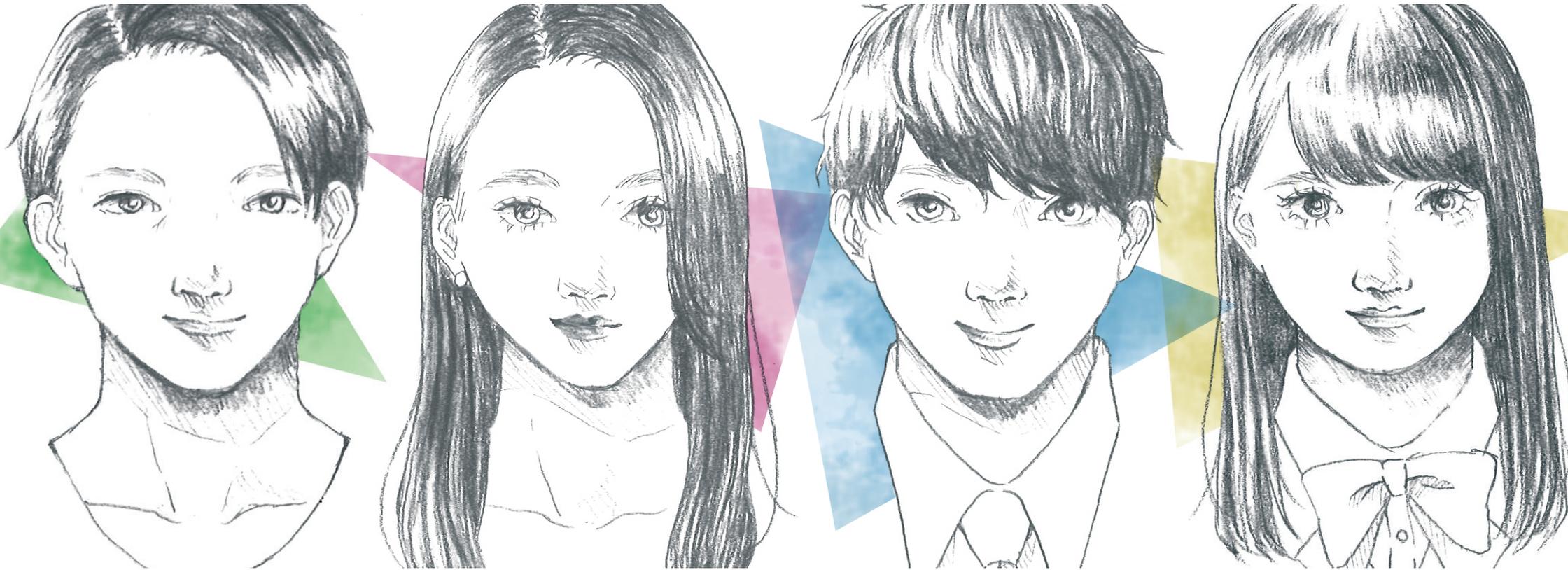
医療関係者用 患者様ご説明資料

デュアック配合ゲルをご使用する患者さんへ

監修:にしむら皮フ科クリニック

理事長・院長 西村陽一先生

看護師長 西村美和先生



すこやか肌を目指す

NiKiBi Care Guide Book

ニキビケアガイドブック

サンファーマ株式会社

01 ニキビのでき方

1

健康な皮膚



2

炎症が起きていないニキビ

コメド(面ぼう)
(白ニキビ・黒ニキビ)



微小面ぼう



毛穴がつまり、皮脂がたまり始めている状態。放っておくと、アクネ菌が増えて赤ニキビになることがある。

3

炎症が起きたニキビ

赤ニキビ

黄ニキビ



アクネ菌が増えて、炎症の原因物質を出すことで、コメドが赤ニキビになることがある。もっと皮脂がたまると黄ニキビになることもある。

4

ニキビあと

炎症後紅斑

瘢痕(はんこん)



皮脂のたまりがとれて腫れもないが、炎症とは違う赤みが残っている。
赤ニキビの炎症が原因でへこんだようなニキビあとになる。

「赤ニキビや黄ニキビのうち、約12個に1個が3ヵ月以内に瘢痕になる」と、アメリカの研究者が報告している。¹⁾

デュアックのはたらき



余分な角層をはがして
毛穴のつまりをとる

アクネ菌を減らす

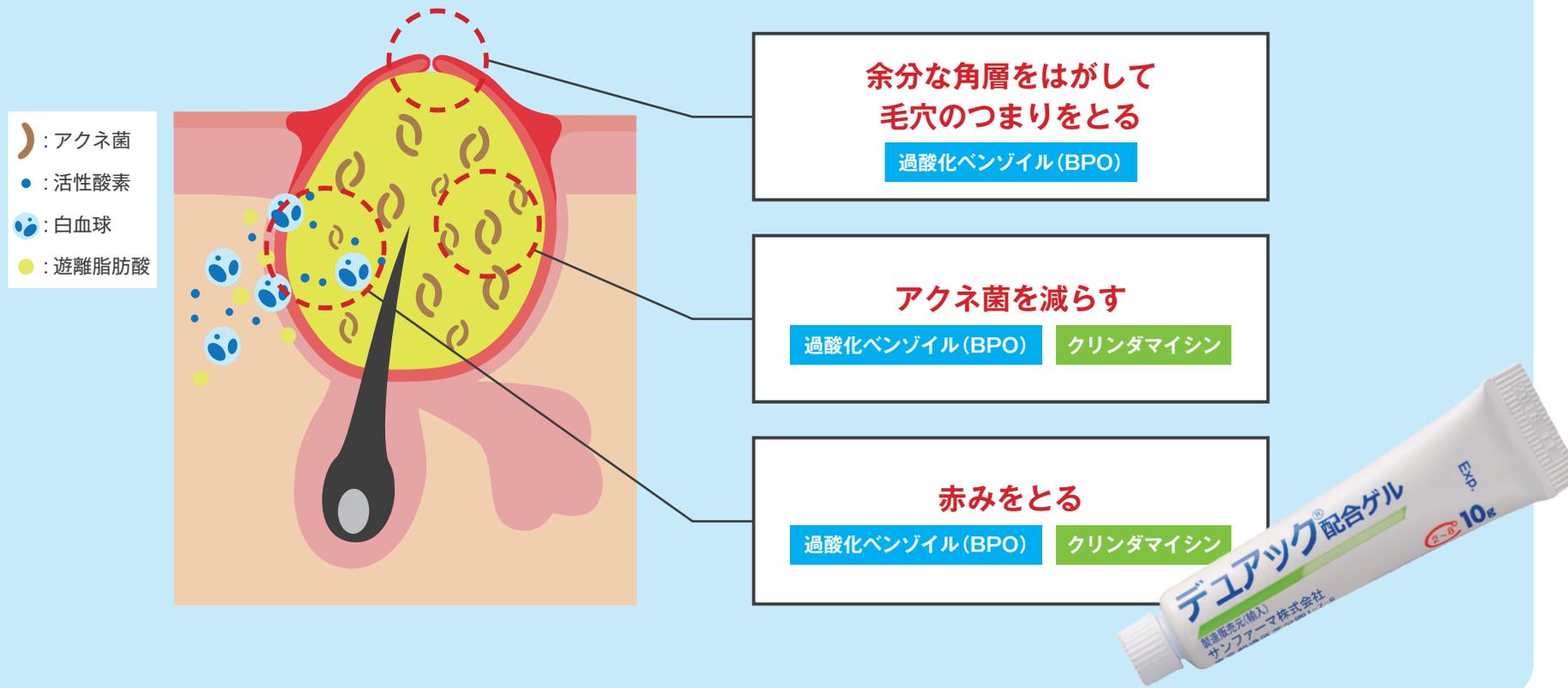
結果的に
赤みがとれる

1) Do TT et al.: J Am Acad Dermatol, 58(4):603-8, 2008
写真：にしむら皮膚科クリニック 理事長・院長 西村陽一先生ご提供

02 デュアック配合ゲルの作用と効果

デュアック配合ゲルは、ニキビの原因にアプローチする2つの有効成分
「過酸化ベンゾイル」と**「克林ダマイシン」**が配合されています。¹⁾

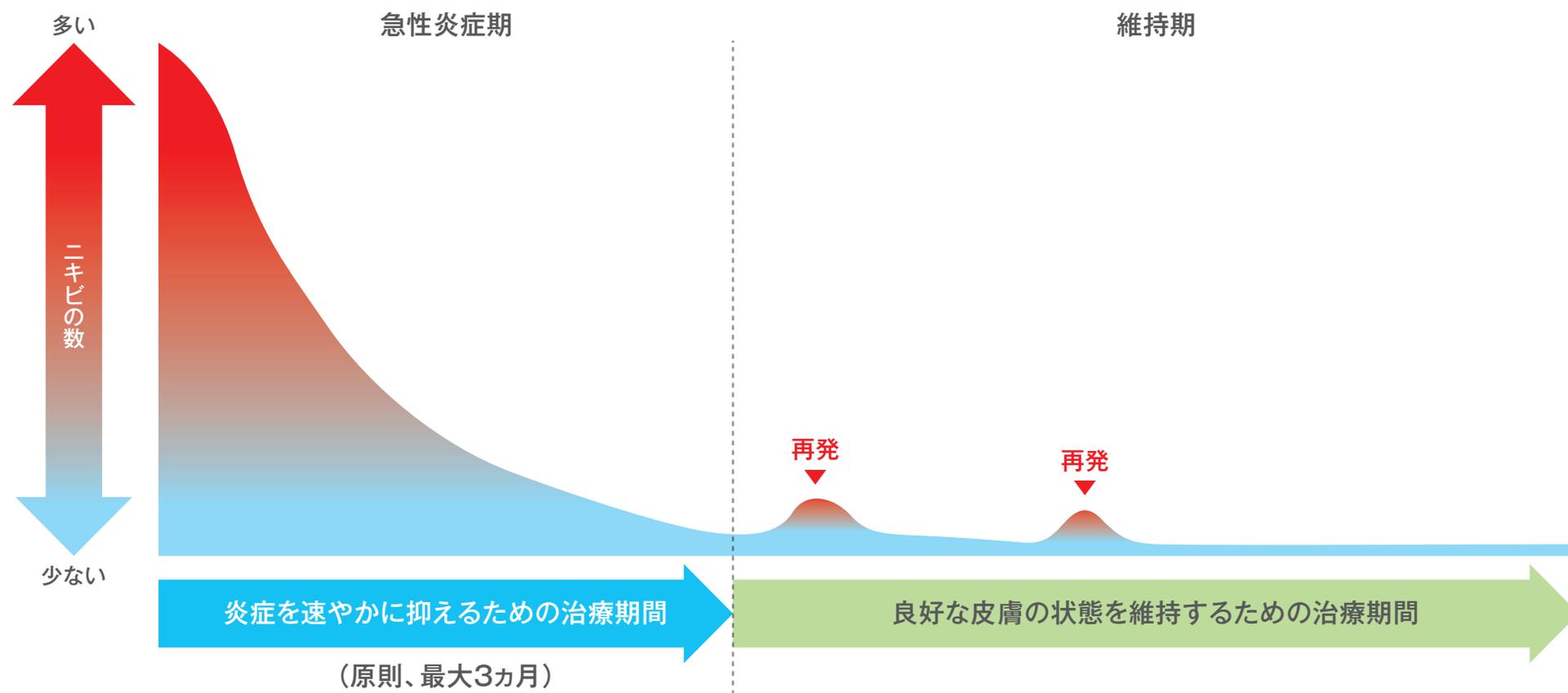
デュアック配合ゲルは、**ピーリング作用**によって毛穴のつまりを改善します。
 さらに、ニキビの原因菌であるアクネ菌を**殺菌**します。通常は、**2週間～3ヵ月**で効果を実感することができます。



1) デュアック®配合ゲル インタビューフォーム第9版

03 ニキビ治療のイメージ

炎症を速やかに抑えるための治療をしっかりと行い、その後も良好な皮膚の状態を維持することで、ニキビあとを作らないようにすることが大切です。



04 面ぼう治療薬で治療した場合の経過のイメージ

軽症の場合



中等症の場合



注)全てがこのような経過を示すわけではありません。

写真:にしむら皮膚科クリニック 理事長・院長 西村陽一先生ご提供

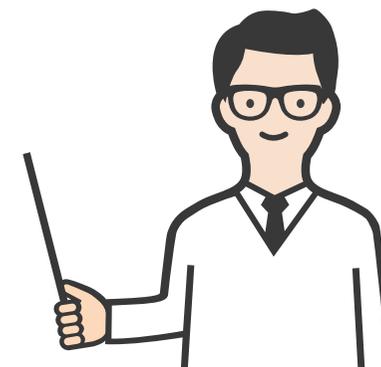
05 ニキビ治療のゴール

ニキビ治療のゴール

- ・ ニキビあとを残さないことが治療の最終ゴールです。
- ・ まずは3ヵ月を目安に治療を続けましょう。

皮膚科
ニキビ係
日直

ニキビは慢性炎症性疾患のため、治療をし続けることが大切です。
医師の指示に従い、根気よく治療を続けましょう。
治療をやめたあと、少しでもニキビができたらずくに受診しましょう。



06 デュアック配合ゲルの塗り方

【塗る範囲】



塗る範囲や量は医師の指示に従いましょう。

- 【塗る手順】
- ① 洗顔料を泡立てて顔全体を優しく洗い、
柔らかいタオルで水分を吸い取ってください。
 - ② 1日1回、患部に適量を塗ります。

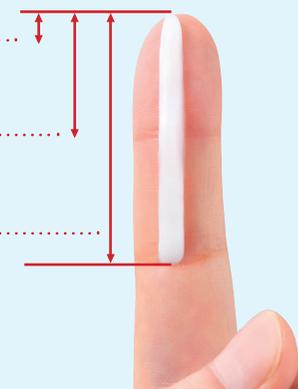
注)保湿が必要な場合、塗る順番、量は医師の
指示に従いましょう。

塗る量の目安

おでこ ▶ 第1関節の1/4までの長さ (約0.075g)

顔半分 ▶ 第1関節までの長さ (約0.3g)

顔全体 ▶ 第2関節までの長さ (約0.6g)



07 デュアック配合ゲルご使用時の注意

退色の可能性があります。
付着しないように
注意してください。



塗布後には必ず手を
洗ってください。



冷蔵庫(2~8℃)に
保管してください。¹⁾

注)凍らせないでください。¹⁾



薬局や病院からおく
すりを持ち帰るとき
や旅行に行くときは、
高温になりすぎない
ように注意して、到
着後はすぐに冷蔵庫
に入れてください。

【参考資料】 各種保存条件下における製剤^{*1}の安定性試験結果まとめ¹⁾

保存 条件	温度	2~8℃ ^{*2}	25℃ ^{*2}	30℃ ^{*2}	-20℃ ↔ なりゆき室温 ^{*3}
	湿度	調整せず	60%RH	65%RH	—
安定期間 ^{*4}		36ヵ月	3ヵ月	1ヵ月	約1ヵ月

^{*1} ポリプロピレンキャップ付ポリエチレンラミ
ネートチューブ

^{*2} 製造後、約1ヵ月のロットを用いて実施

^{*3} -20℃で3日間、その後室温で4日間保存、
これを4回繰り返した。製造後、約1年のロット
を用いて実施

^{*4} 全ての試験項目において変化なしが規格内

1) デュアック®配合ゲル インタビューフォーム第9版

08 デュアック配合ゲルの主な副作用

このような症状があらわれたら、医師に相談しましょう。



カサカサ・ガサガサ

乾燥・皮膚剥脱



赤み

紅斑



かゆみ・ヒリヒリ

そう痒症・刺激感

塗りはじめの時期にカサカサ・ガサガサや赤み、かゆみ・ヒリヒリ感を感じることがありますが、治療を続けるうちに徐々に減っていきます。塗りはじめの2～3週間は特に注意してください。



かゆみ・かぶれ

接触皮膚炎

100人中3人程度の頻度で、かゆみ・かぶれ（接触皮膚炎）が起きることがあります。以下の症状があらわれた場合は、すぐに使用を中止し、医師・薬剤師へご相談ください。

- ・赤みやかゆみが強い
- ・ジュクジュクする
- ・ただれている
- ・ひどく腫れる など

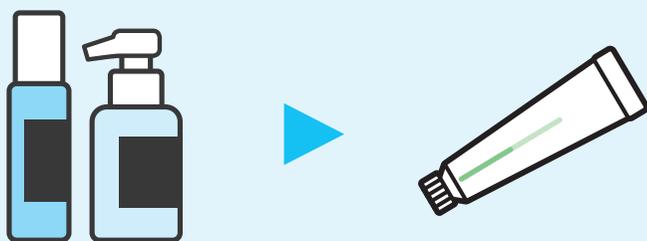
注)これらの写真は一般的な症状で、デュアック配合ゲル使用によるものではありません。

写真：にしむら皮フ科クリニック 理事長・院長 西村陽一先生ご提供

09 デュアック配合ゲルによる刺激対策

刺激が気になる場合は、以下のような方法を医師に相談してください。

保湿剤の併用



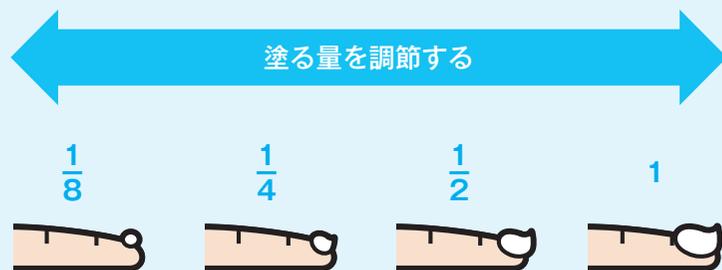
保湿剤を先に塗ってからデュアック配合ゲルを塗ってください。

スキンケア指導



過度な日焼けは避けてください。
洗顔方法や使用製品についてご相談ください。

塗布量の調節



少ない量で塗ってください。

塗布時間の調節



塗布後15~20分経ったら洗い流してください。

医療機関名

サンファーマ株式会社

2024年10月作成
DCG355HH4X